

### 第3期宮前区区民会議 拡大企画部会 摘録

□日 時 平成22年7月21日（水）18：00～20：00

□会 場 宮前区役所 保健所1階 集団教育ホール

□参加者 委員 山下委員長、恒川副委員長、直本副委員長  
浦野委員、岡田委員、久保委員、小泉委員、佐藤委員、高橋委員、  
田邊委員、谷山委員、種村委員、手塚委員、豊島委員、平井委員、  
藤田委員  
事務局 岩佐企画課長、豊田担当係長、鈴木職員、  
佐谷、阿部（コンサルタント）

#### 1 審議テーマ（案）の検討

※資料1、資料3、資料4に沿って、テーマの絞り込みを行うことについて山下委員長が説明

#### ■審議テーマ（案）の絞り込み

※テーマ検討会で絞り込んだ4つのテーマについて、その時点での意見表明として、各委員が2つのテーマに投票を行った。

テーマ	地産地消を通じた緑の保全や農商業の応援	地域特性を逆手にとった活力づくり、健康づくり	市民活動をしやすいするための横の連携づくり	町内会・自治会の活性化
得票数	8	10	6	8

※投票結果を踏まえ、意見交換を行い、「地産地消を通じた緑の保全や農商業の応援」「地域特性を逆手にとった活力づくり、健康づくり」の2つのテーマを審議テーマ（案）とすることが決定した。

『地産地消を通じた緑の保全や農商業の応援』  
『地域特性を逆手にとった活力づくり、健康づくり』



【上記2つのテーマを考える上で考慮すべきこと】

- 市民活動をしやすいための横の連携づくり
- 町内会・自治会の活性化

■意見交換

※投票結果を踏まえ、意見交換を行った。

**山下** まず各委員がなぜ2つのテーマを選んだのか、意見を言ってもらってはどうか。

**直本** 結果が分散しているので、各委員に意見を言ってもらおうと、収集がつかなくなる。「地域特性」の10票の中に入っていない6名に「地域特性」を取り上げることについて意見を聞いたらどうか。まずひとつを固めてそれから議論を進めたほうがよいのではないか。

**平井** 票をいれていないということについて、意見を言いにくい。

**久保** 一番票が少ない市民活動にあえて投票した。「地産地消」や「地域特性」はやることわりと見えているが、「市民活動」に挙げられる横の連携や担い手づくりという観点は忘れてほしくない。他のテーマに決まっても、「市民活動」を意識してやっていくという確認がとれればよい。

**平井** 私も「市民活動」に票を入れたが、それを他の3つのテーマに組み込めればよい。

**佐藤** 「地産地消」と「地域特性」、「市民活動」と「町内会・自治会」という大きな2つのテーマに分けられないかと思い、「地域特性」と「市民活動」に投票した。

**直本** 全てのテーマが関連しているので、統合されるものもあると思うが、現時点で細かいところまでは決められない。大きなテーマについて明らかにしておいたほうがよい。

**恒川** 大きく2つにくくるテーマという観点からは、「町内会・自治会」について、区民会議で現実的に何をやれるのかと疑問に思う。

**藤田** 町内会単位のイベントを整理し、地域住民が参加できるような形にできないかと思う。

**種村** 宮前区の街路樹は9種類あるが、みなさん知らないと思う。緑の保全の観点から、樹木に名札をつけたい。健康づくりにもつながると思う。

**平井** 公園管理運営協議会などいろんなところで公園の樹木に名札をつける活動はやっている。区民会議で同じことをやることを避けるために、実施する内容を話し合ったほうがよい。いろんな活動の掘り起こしや、つなげることが区民会議だからこそできることではないか。

**浦野** 「地産地消」と「地域特性」に投票した。これらを行うことによって、横の連携や活性化に結びつくというイメージを描いた。4つのテーマはテーマと方法と目標が一緒になっている。「町内会・自治会」が目標で、「市民活動」は方法で、残りの2つは具体策だと思う。

**佐藤** 区民会議では区民全体にかかわるテーマを扱わなければいけないと思っている。優先順位をつけたときに、まず「地域特性」があり、それを支えていくのが「市民活動」だと思った。「地域特性」は多くの区民を巻き込めるのではないか。

**恒川** 区民会議で地域課題の解決に向けた提案をする「相手方」は区民全体であるから、ネットワークをどうするかということが考える必要がある。「地産地消」や「地域特性」をテーマにしながら、具体化のため町内会・自治会をどう組み込んでいくか。行政や区民会議が積極的に関わらないといけない。

### 第3期宮前区区民会議 拡大企画部会 摘録

**直本** 「町内会や自治会」は目的というよりは方法論として活動に組み込んでいくほうが考えやすい。「町内会や自治会」をテーマにしたとき、何が出てくるかよく分からない。

**平井** 前は宮前区らしさという大きなテーマの中に、4つのテーマを大事にしてほしいということがあった。

**恒川** ネットワークは大事な問題だが、それを具体策の中でどう組み込むかが問題だ。

**佐藤** 市民活動や町内会など、地域社会の担い手となっている人たちは既に忙しいので、ただ良い提案だからやってほしいということだけにはならないように注意してほしい。

**久保** 「地産地消」や「地域特性」をテーマとして、その後をどのように横の連携をとりやすくできるかということに発展していくのではないかな。

**手島** 区民会議はイベントをするのか。それとも意識を区民に啓発するのか。区民の隅々まで意識を啓発するものだと思うが、地味なことを続けていくのは難しいと感じている。

**恒川** 区民会議の認知度は低い。だから、知名度を上げることもひとつの課題だと思う。

**久保** いつも認知されていないという話が出てくる。市民活動や区民会議を知ってもらうために、次の世代につなげていく方法や実践するための仕組みを検討する部会があってもよい。

**直本** 区民会議が認知されていないのはできてから間もないことと、活動していないからである。認知してもらうことだけを目指するのは筋が違う。何かをやりながら、認知してもらったほうがよい。

**佐藤** 第2期のフォーラムにおいて、参加者からいつまでも発信しているだけではいけないと言われた。企画部会の中で市民活動、町内会・自治会の活動を整理できないか。

**恒川** 2つのテーマは具体的でなければいけないと思う。区民会議では、具体的な提案をし、その中に市民活動や町内会・自治会との連携を組み込むしかないと思う。

**山下** 宮前区らしさや地域特性を活かすということから、坂の問題はウエイトが高く、取り上げてほしいと思っている。

宮前区に愛着をもつことでコミュニティづくりにつなげるという話もあったが、「地産地消」と「地域特性」に取り組めば、結果として「市民活動」や「町内会・自治会」につながっていくと思う。

区民会議の認知度が低いのは、他にやっている自治体が多くないからである。川崎市は先端をきって自治基本条例をつくり、区民会議をつくった。市民を集めた区民会議は、議決権はないものの、必要な存在だと思っている。委員各自が認知度を高めていく意識をもって取り組んでほしい。

**平井** ネットワークや連携は、町内会・自治会においても基本になるので、もうひとつテーマを選ぶとすれば、「地産地消」になる。地産地消だけでなく、緑の保全も考えたほうがよい。

**小泉** テーマになりやすいと思い、「地産地消」と「地域特性」に投票した。地産地消といっても、新しい形で地産地消ができるとうい。区の農家はいろんなところでアピールしている。

**谷山** 「地域特性」と「市民活動」に投票した。ネットワークといっても動きがないといけないので、「市民活動」を「地産地消」にしたい。宮前区は寺や神社が多く、山を上がるとある。平坦なところは少ない。ツツジで有名な等覚院では、当時参道があり、露

### 第3期宮前区区民会議 拡大企画部会 摘録

店で賑わっていた。寺や神社を目的地として、坂や商店をつなげることができるとよい。

**佐藤** 市民活動や町内会・自治会に関わる人に負担がかからないようにし、高齢化などに  
対応し、担い手についてもサポートできるのであれば、良いと思う。

**恒川** 町内会や自治会は高齢化が進んでいるが、青少年指導員や子供会、PTAなど若い  
パワーをどう町内会・自治会に組み込めるか。そうすればいろんな課題を解決できると  
思う。

**佐藤** 第1期はいいテーマだったが、担い手がいなかった、第2期は担い手が見つかった  
が、活動をしている人を呼ぶというスタイルだった。第3期は市民活動をしていない人  
でも取り組めるような考えを持ちたいと思う。

**恒川** 義務的な感覚ではなく、イベントなどに参加するところから、すそ野を広げていき  
たい。

**田辺** 「町内会・自治会」、「市民活動」は一緒だと思っているので、「町内会・自治会」に  
投票した。様々な団体が上下や横でコミュニケーションが図られているかと言えばそう  
ではない。どうやって横の連携を考えるかということこそ市民活動の一部だと思ってい  
る。

道の駅についても既に農協で活動しているし、地産地消についてもJAでやっている  
のに、区民会議で考えるのもどうかと思う。コミュニティやネットワークを外すのはど  
うなのか。

**小泉** 地産地消については、農協で麻生区黒川にあるセレサモスをやっていたり、スーパ  
ーでも地場のものを見かけるようになった。地産地消を土台とし、農家の土地を活用し  
てイベント等を実施し、農地の意義をアピールできるとよいと思ったからである。

**平井** 農協で既に地産地消に取り組んでいるのであれば、区民会議でメインにしてやるの  
ではなく、いろんな活動を連携させ、ネットワークをつくるのがひとつのやり方かと思  
う。

**久保** 所有者がなくなり、大きな庭や農地がなくなっており、緑を守りたいと思う。農家  
と地域の人たちが仲良くなるきっかけづくりができると、緑の保全の第1歩が踏み出せ  
ると思う。

**恒川** 地産地消というと、商店がつくっているものも対象になる。宮前区らしいものは何  
かを見直して、区民にイベントなどで知ってもらおう努力をする必要がある。

**佐藤** それは観光協会や町内会連合会がやっているのではないか。

**高橋** JAの協力により地産地消を観光協会の情報誌で取り上げている。坂については、  
みやまえぼ一たろうにおいて紹介している。

**直本** 地産地消を狭く捉えると、もうやらなくてよいと思ってしまう。地産の知らない面  
はたくさんある。地産地消を通して何かできないか。

**平井** 緑の保全であれば、相続などの際に緑の保全につながるように条例を強化し、緑の  
減少をふせげればよいと思う。

**山下** 宮前区の特長について考えることによって、それを通して市民活動や町内会・自治  
会につなげることが必要だと思う。各委員が市民活動を行っているので、連携づくりに  
ついては各委員がやってほしい。

## 2 その他

### ■参加希望部会の意向把握

各委員の意向をアンケートにより把握した。

### ■今後のスケジュール

事務局より、第2回全体会の日程を8月3日（水）に開催し、その中で専門部会のプレ部会としてグループワークを開催することを報告した。

その後の予定については、第3回の全体会を11月11日（木）夜に行い、8月末～9月上旬、9月末～10月上旬に専門部会を行うこととする。

専門部会の詳細日程は第2回全体会で事務局より提案する。

(以上)